

特報

新型コナウィルスによる緊急事態宣言下の八日に、自衛隊初の垂直離着陸機F35オスプレイが米軍岩国基地（山口県）に配備された。今後、陸上自衛隊木更津駐屯地（千葉県木更津市）に暫定配備される予定だが、市民や行政は感染対策に手いっぱい、安全性や騒音の対話を求める余餘はない。「コナウィルス」の軍備増強」との批判が高まっている。

（右）井代美、中沢佳子

オスプレイ 千葉・木更津に配備へ

コロナ禍 よそに 軍備増強

瀬戸内海に面する米軍岩国基地。八日午前八時半ごろ、自衛隊のオスプレイ二機を載せた巨大な輸送船が港灣施設に接岸した。

コロナ禍の中、近々の堤防から抗議した市民は約二十人。沖縄に配備される米軍のオスプレイが搬入された。〇二一年は千人以上の集会が開かれ、海上抗議船も出たが、今回ほど大々的ではなかった。

参加した「愛宕山を守る会」（世話人代表の岡村寛さん）は、電話取材に「岩国が軍事拠点として使われていることが、市民が反対の意思を示すのが大勢」と説明。一方で「コロナのために密集を避けようとする参加を見送った人も多かった。今は県をまたいだ移動もはばかられる」と話した。

今回の二機は、米軍側が整備や試験飛行をした後、木更津駐屯地に移す予定。当初は

抗議集会 開催困難



〇二一年12月、オスプレイの配備に反対する人々。千葉県木更津市海岸で。

六月下旬に配備する計画だったが、中国四國防衛局の藤田充孝報道官は「感染拡大防止措置がとられていることもあり、米側の作業実施時期は未定。配備がいつになるかわからない」と語る。

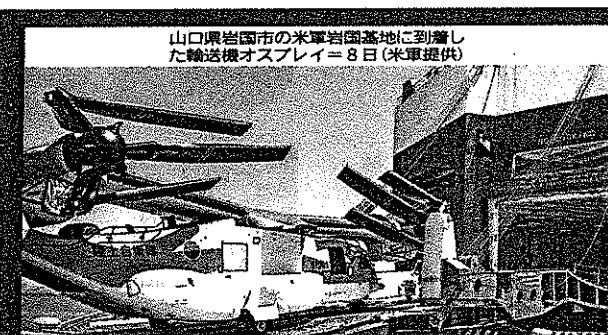
自衛隊のオスプレイは当初、南西諸島を防護する水陸機動団の輸送のため、部隊のある相浦駐屯地（長崎県佐世

保市）に近い佐賀空港（佐賀市）に配備される予定だった。ところが、有明海のノリ養殖などへの影響を心配する漁関係者や反対、木更津駐屯地へ暫定配備が打ち出された。なし崩し的に恒久配備されるのではないかと心配した木更津市の住民らは昨年十一月、二千人規模の抗議集会を開くなどして反対運動を展開したが、渡辺秀邦市長は「（配備期間が）五年以内という条件」で受け入れる意向を表明。その後、防衛省との間で交わした合意書は「五年以内を目途とする」という書きぶりに変わった。

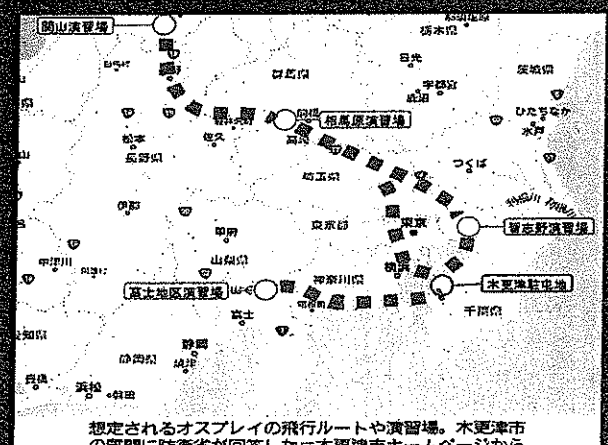
恒久化や騒音、安全性への不安を募らせているところから、コロナ禍が襲った。「不要不急は控える」との雰囲気が出る一方、防衛省は配備に向けて着々と準備。三月下旬にオスプレイを運用する「輸送航空隊」が木更津駐屯

地に発足した。緊急事態宣言直前の四月五日には駐屯地内で隊員約百十人が参加する「隊旗授与式」も行われた。防衛省広報課の中村俊介氏は「人数を必要最小限にし、参加者同士の距離も十分確保した。恒久化されないとは明言したいが、木更津市長からは「五年以内」という要請は非常に重く受け止めている。約束を達成すべく佐賀との調整を加速させていく」と話。

住民でつくる「オスプレイ来るな いらぬ住民の会」の吉田勇樹会長は「コロナの影響で、いつも話し合いに使っている公民館は閉鎖。メールや電話の打ち合わせが主体で、意思疎通にも支障が出る。みんながこんな大変な時期なのにオスプレイを進めるとなると思っている。反対集会その意思を表明したいけど、大規模に集まること自体が難しい」と嘆いた。



山口県岩国市の米軍岩国基地に到着した輸送機オスプレイ＝8日（米軍提供）



想定されるオスプレイの飛行ルートや着陸場。木更津市の質問に防衛省が回答した一木更津市ホームページから

更津のオスプレイは立川にも飛んでくると言われており、そこには米軍がオスプレイを配備している横田基地もある。首都圏の空を多数のオスプレイが飛び交うことになる」と危ぶむ。

そんな計画がコロナ禍でも着々と進む。政治評論家の小林吉弥氏は「新型コロナ問題に直面している世界の現状をみても、戦争をしかける国があるとは思えない。今やあんなことやない」と語る。

コロナ収束後、社会や経済、各国関係は変化するとする小林氏は「日本関係は改善するだろう。国内では倒産や自殺の急増も懸念される。今は感染拡大対策なども、コロナ後を見据えた日本関係の構築と、経済の立て直しに全エネルギーを注ぎたい」と苦言を呈する。

日米安保に詳しいジャーナリストの大内要三氏は、陸自宮古島駐屯地（沖縄県）に三月、地対空・地対艦ミサイル部隊が発足したことも挙げ、「国民の目がコロナ問題にそれている中、ミサイルに配備が決定したことも挙げ、市民の反対の声も聴かずに軍備増強が進んでいる」と批判。自衛隊が米国のアジア太平洋戦略の一環に組み込まれていく動きを懸念する。

木更津市は暫定配備受け入れを決める前の昨夏は、計十五回の住民説明会を開いたが、今後は未定だ。企画課基地対策係の長谷川光敏係長は「今後、オスプレイが来るかどうかのタイミングで住民説明会をやる必要も出てくると思う。ただ、その時コロナなどの程度なのか、どんな形で行うのか悩ましい問題だ」と嘆く。

「コロナ禍でもオスプレイ配備が強行されるのは、なぜなのか。」

指摘されるのが、日本が米政府から装備品を直接購入する「対外有償軍事援助（FIM S）」という制度。機密性の高い装備品が手に入る代わりに、米側が決めた価格を納期に沿って、前払いで買う仕組み

米条件 拒めず強行

「自衛隊が使えば国民は安心し、オスプレイへの拒絶反応も収まる」という官邸の思惑から、陸自内部も「二機なら仕方ない」という空気があった。ところが、十七機も導入する上、年間整備費が一機十億円として十七機で百七十億円、陸自のハリ整備費

算を圧迫する。そういう現場の実態も考え、米軍でも待たせたいオスプレイを爆買した。

そもそも防衛省は、主に南西諸島防衛に当てるためにオスプレイを導入するとしているが、当面の運用は首都圏周辺が中心になりそうだ。防衛省が昨年十月、木更津市からの質問に回答している演習場は岡山（新橋原）、相馬原（群馬県）、習志野（千葉県）などが挙げられている。

陸自立川駐屯地（東京都立川市）の地元市民グループ「オスプレイを飛ばすな」は「オスプレイを飛ばすな」立川市民の会」の馬場和徳会長は「木更津は米軍のオスプレイの整備拠点で、そこに陸自の方も加わる」と語る。木

「コロナ禍でもオスプレイ配備が強行されるのは、なぜなのか。」

指摘されるのが、日本が米政府から装備品を直接購入する「対外有償軍事援助（FIM S）」という制度。機密性の高い装備品が手に入る代わりに、米側が決めた価格を納期に沿って、前払いで買う仕組み

「自衛隊が使えば国民は安心し、オスプレイへの拒絶反応も収まる」という官邸の思惑から、陸自内部も「二機なら仕方ない」という空気があった。ところが、十七機も導入する上、年間整備費が一機十億円として十七機で百七十億円、陸自のハリ整備費

米条件 拒めず強行

「自衛隊が使えば国民は安心し、オスプレイへの拒絶反応も収まる」という官邸の思惑から、陸自内部も「二機なら仕方ない」という空気があった。ところが、十七機も導入する上、年間整備費が一機十億円として十七機で百七十億円、陸自のハリ整備費

算を圧迫する。そういう現場の実態も考え、米軍でも待たせたいオスプレイを爆買した。

そもそも防衛省は、主に南西諸島防衛に当てるためにオスプレイを導入するとしているが、当面の運用は首都圏周辺が中心になりそうだ。防衛省が昨年十月、木更津市からの質問に回答している演習場は岡山（新橋原）、相馬原（群馬県）、習志野（千葉県）などが挙げられている。

陸自立川駐屯地（東京都立川市）の地元市民グループ「オスプレイを飛ばすな」は「オスプレイを飛ばすな」立川市民の会」の馬場和徳会長は「木更津は米軍のオスプレイの整備拠点で、そこに陸自の方も加わる」と語る。木